

四谷の郷愁さんぽ道

のどかな田園風景を楽しむコース。彼岸花の季節にはロマンチックな雰囲気漂い、広大な緑地ではさまざまな樹木や花が鑑賞できます。

四谷自然樹林と四谷下堰緑地

四谷自然樹林は、多摩川の自然堤防上に発達した樹林の名残と見られており、8月頃に花を咲かせるキツネノカミソリをはじめ、武蔵野の雑木林に自生する様々な植物を観察できる貴重な緑地として保全されています。四谷五丁目交差点を渡った先の四谷下堰緑地では、9月中旬頃ヒガンバナの群生を見ることができます。三屋通りを南へ進み、多摩川河川敷へ。



四谷自然樹林

懐かしい田園風景を

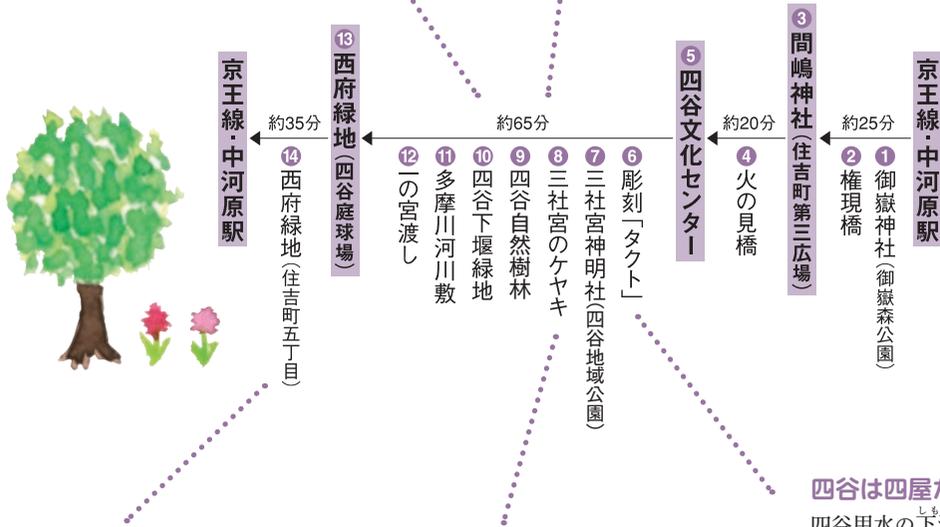
東大山道^{ひがしおやま}を渡り、四谷公会堂を過ぎると、右側に四谷の田園風景が見えます。田植えの時期になると水路に水が流れ始め、夏から秋にかけて移り変わっていく稲の姿が美しい景色を作り出します。タニシやトンボなど、水辺で見られる生き物にも目を向けてみましょう。



四谷 2 丁目付近の用水

由来碑を読んでみる

中河原駅を出て鎌倉街道を渡り、御嶽神社^{みづのしんじ}入り口を左へ。御嶽森公園には中河原の地名の由来碑があります。コースを進んだ先にある間嶋神社^{あいまじま}は、飯能市の「子ノ権現^{みこのけんげん}」を勧請したと言われており、かつて参道口に架かっていた権現橋の名前の由来となっています。境内にある間嶋の由来碑も読んでみましょう。



西府のグリーンベルト

西府緑地は、府中四谷橋から京王線までのエリアに、群島のように連続した緑地帯です。たくさんの樹木が見られますが、サクラの季節にはぜひ訪れたい場所です。中河原公園から鎌倉街道に出ると、ゴールの中河原駅まではまっすぐです。



三社宮のケヤキを見る

四谷の鎮守で、農業の神様や厄除けの神様もまつられている三社宮神明社。名木百選のケヤキがあります。



三社宮のケヤキ

四谷は四屋だった

四谷用水の下河原大堀にかかるのは火の見橋。近くに火の見櫓があつたようです。四谷文化センターの前にはタクトを振る少女の像と四谷の由来碑。四件の家が村を興したことから、古くは四屋の字があてられていたそうです。



彫刻「タクト」(圓鏗勝三作)
(四谷文化センター前)